

ICTによるイノベーション創出に向けて

平成25年3月5日

パナソニック株式会社

津田 信哉

1. **パナソニックグループの目指す方向性**

2. **ICT関連の重点取組について**
 1. **製造業の復活： スマートAV、コネクテッドカー(ITS)**
 2. **エネルギー問題への対応： スマートエネルギー**
 3. **高齢者社会への対応： スマートライフ**
 4. **クラウド・サービス**

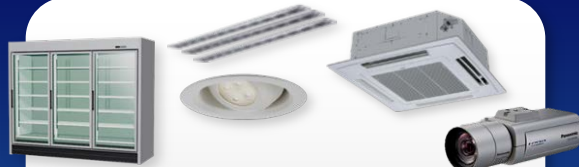
3. **イノベーション創出の仕組みに関して**

パナソニックグループの目指す方向性

3



住宅空間



非住宅空間



お客様



モビリティ



パーソナル



BtoB

お困りごとを
解決

Eco & Smart
Solutions

BtoC

安心・快適
ワクワク感を
提供

環境革新企業

従業員数 : 330, 767人(国内13. 4万人、海外19. 7万人)
内 技術者5. 5万人(国内約3. 7万人、海外約1. 8万人)
連結売上高 : 7兆8462億円(国内 4兆1620億円、海外 3兆6842億円)
研究開発費 : 5, 202億円(売上高研究開発費率:6. 6%)

■ クラウド/ネットワークにつながることで、幅広いコンテンツやコミュニケーションを楽しむ、新しい映像生活を提案

家中どこでも
プレイスシフト

録画した番組や
オンエア放送を転送



ワイヤレスで宅内機器を繋ぎ、別の部屋から視聴

モバイル機器に
瞬間持ち出し

1時間のドラマも
15秒で持出完了



超高速無線通信で、モバイル機器に高速転送

新しい体験
スマートテレビ

VOD、ゲーム、
SNSなどの
多彩なアプリ



見るテレビから体験するテレビへ、もっと楽しく便利に

画像の新しい楽しみ方
ホームサーバー

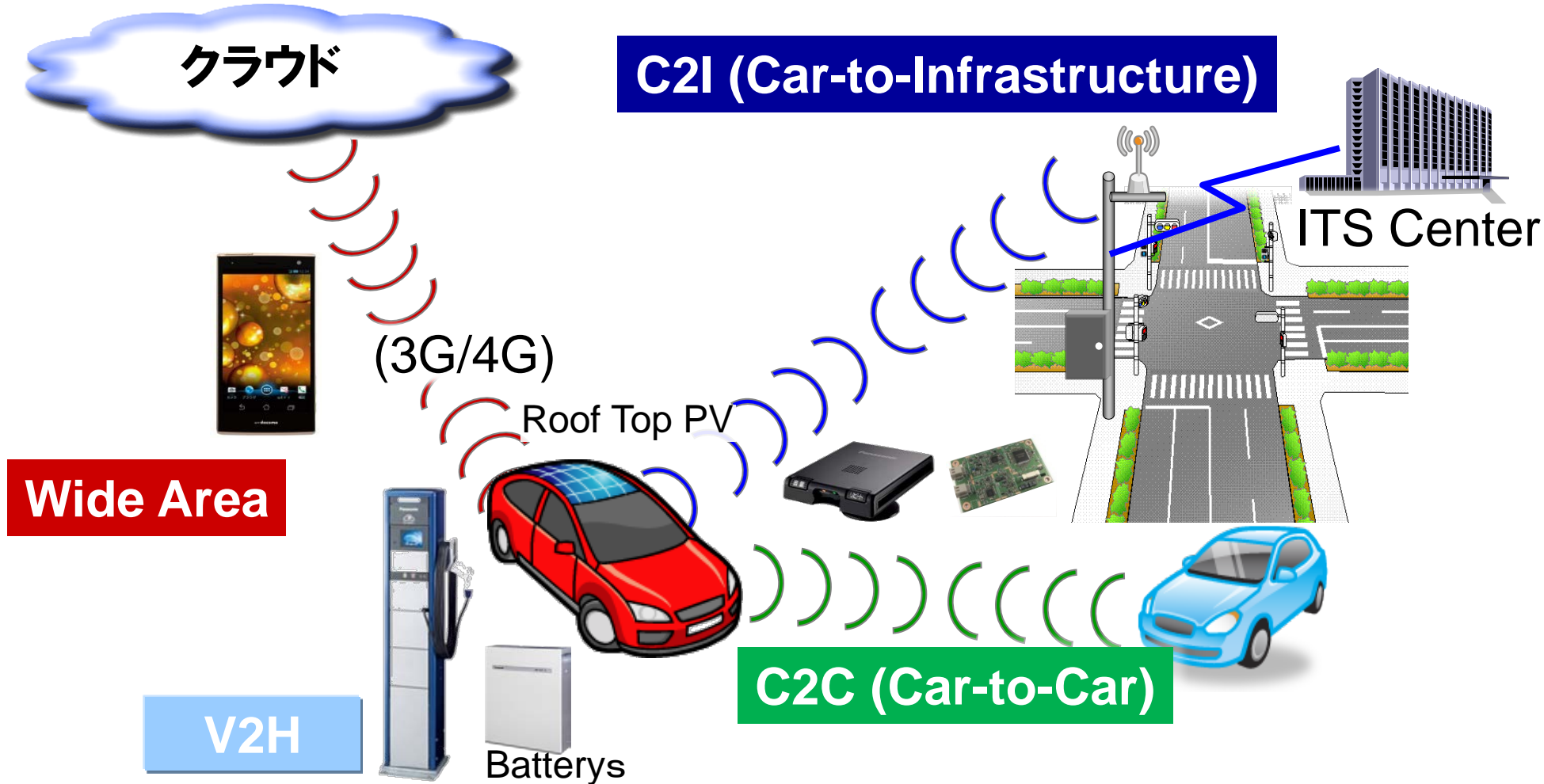
写真を自動でクリップに
SNSにも手間無く投稿



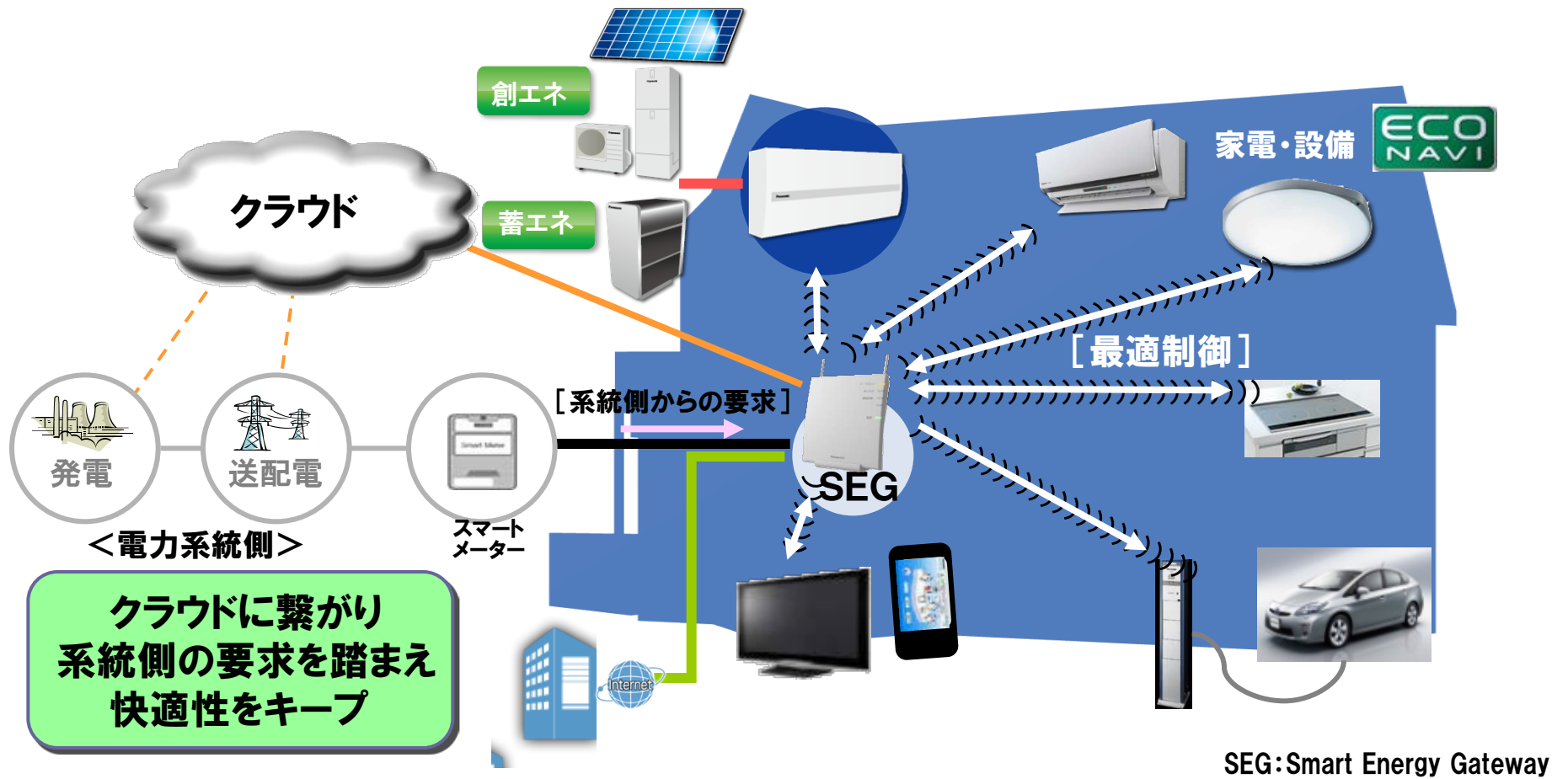
撮った写真をクリップ化してSNSで友達と共有

(製造業の復活)コネクテッドカー(ITS)

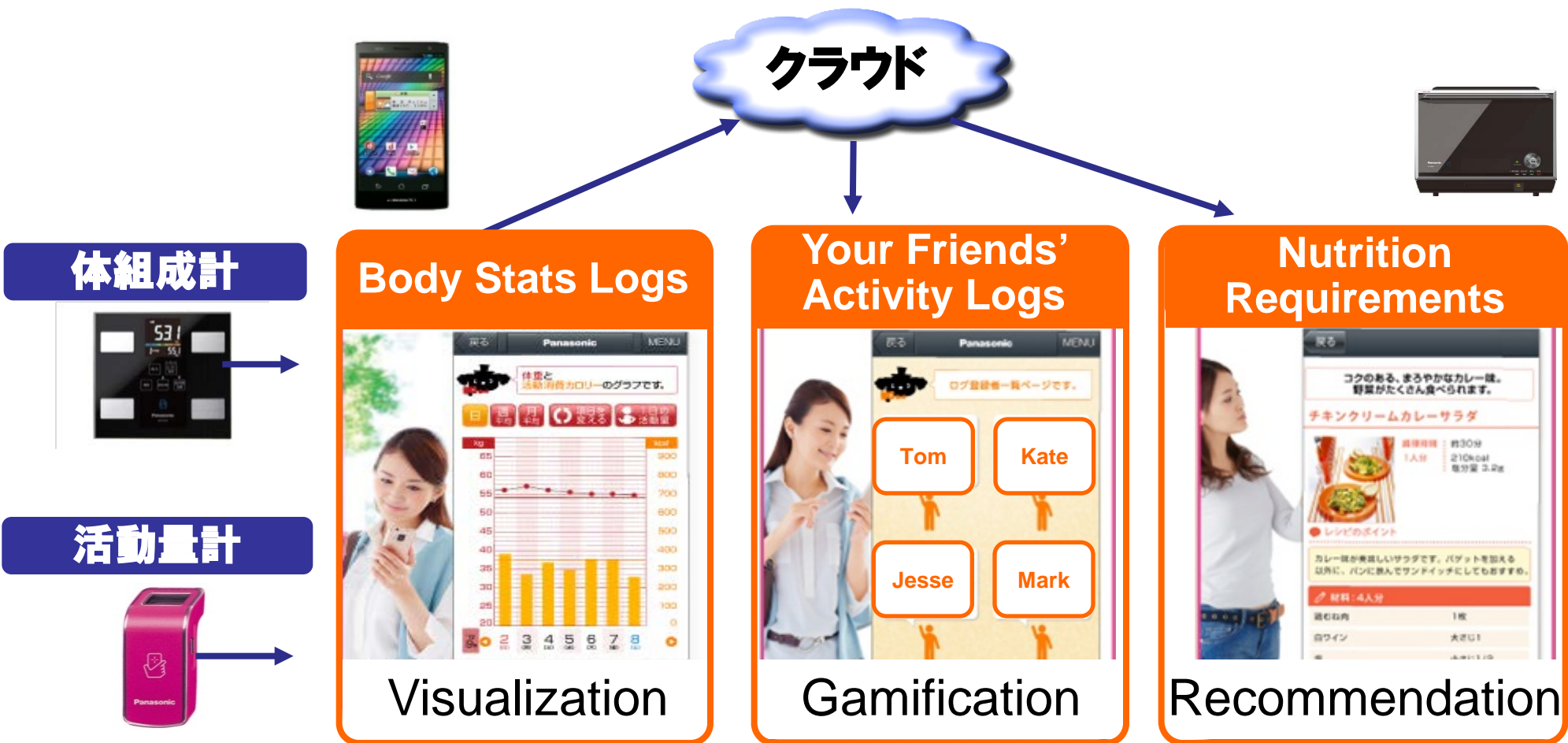
- 車がクラウド、道路インフラ、および他の車とつながることにより、安全で快適なドライブ環境を実現



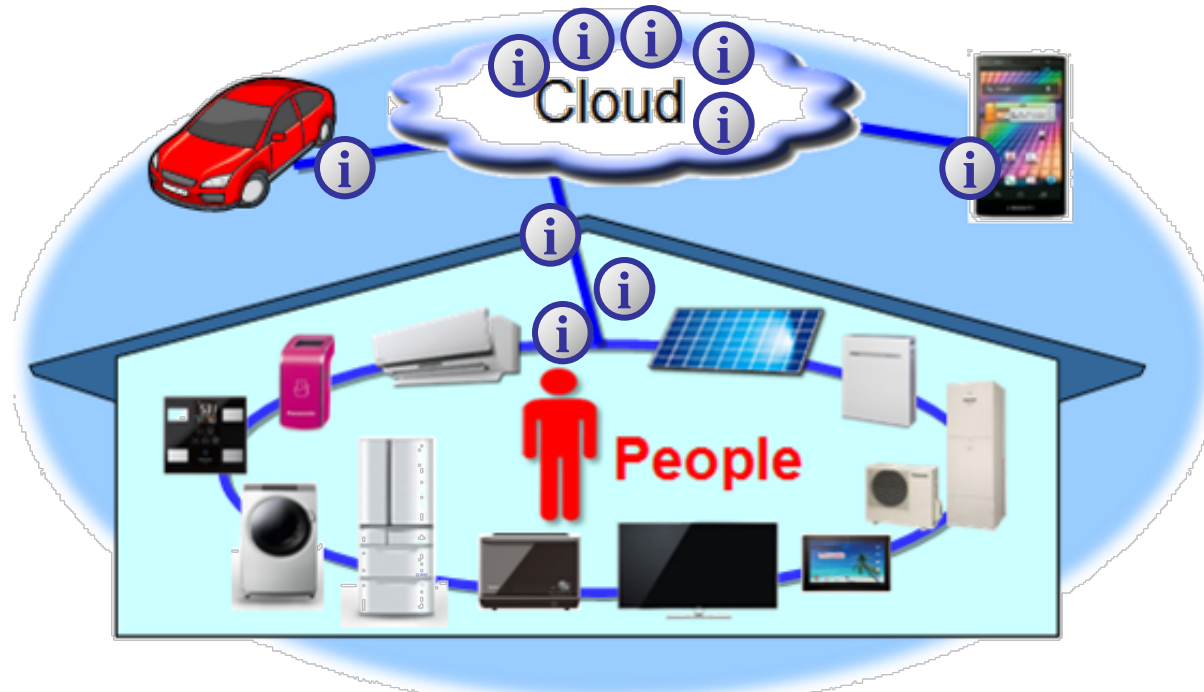
- 快適さを維持しながら省エネを実現
- エコと経済性、安定性を考慮したエネルギーのベストミックスを実現



- 体組成計や活動量計で収集したログをスマートフォン経由でクラウドに保存
- ログは友人と共有し、ゲーム感覚で健康管理を継続
- ログに基づくお勧めレシピをダウンロードし電子レンジへ転送



- あらゆる製品がネットにつながり、情報がクラウドに集約
- 情報を利用して、お客様毎にきめ細やかなサービスを提供
 - ➡ 単品売り切りモデルから、クラウドを用いた新たなビジネスモデルへ



- ホームネットワーク、スマートグリッドなど、機器とクラウドを繋ぐ仕組みの確立が必要
- お客様が安心してサービスをご利用いただけるよう、お客様の個人情報やプライバシーを不注意な企業や悪意ある攻撃者から保護する法的・技術的な仕組みが必要

これまでイノベーション創出に向けて論じられたこと:

- 研究開発への事業化を含めた総合的な視野や評価へのアウトカム指標の導入が必要
- 研究者を支援する体制が不十分
- 「死の谷」を克服する資金供給やユーザ確保の方策が不十分

上記に加え、時間軸、空間軸を考慮して、仕組みを考えることが重要:

【時間軸】 R&D～事業化のフェーズ分けと各フェーズでの目標管理・投資判断

- 小粒なプロジェクトから始まり、有望なものを大きく育てる仕組みが必要
- イノベーション創出の根源は「ひらめき」。多様な視点が入り交じる仕組みが重要（フェーズ毎に目標の見直しが必要）
- 分野やフェーズ毎に時定数は異なる。特徴を活かした達成目標を明確化し育成。国の支援の在り方も分野やフェーズ毎に異なる。

（開発期間：燃料電池では50年前に基礎研究に着手、5年以上の実証実験の後2009年商用開始）

【空間軸】 展開する国や地域を想定した国際標準化－知財戦略、国際協力

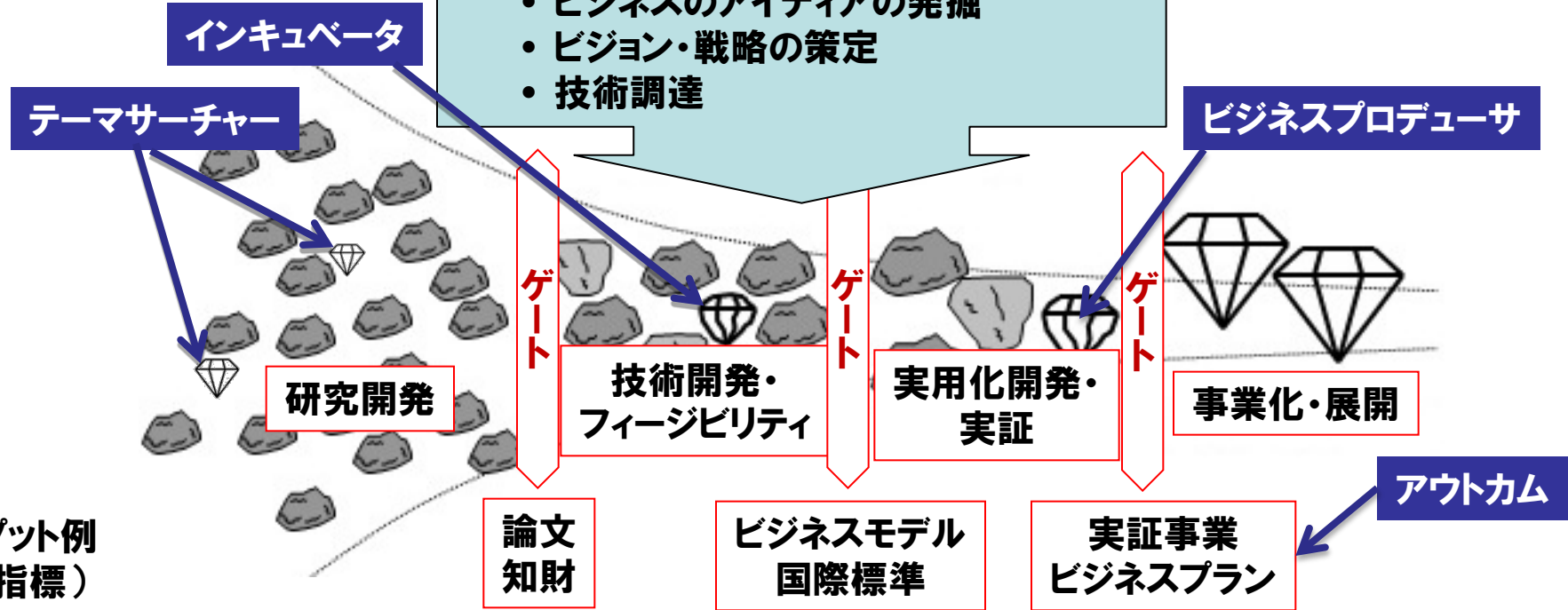
- ビジネスモデルに基づく国際標準化、知財戦略
- グローバルなオープンイノベーション拠点や国際共同プロジェクトを活用する
- 地域特性の反映

イノベーション創出のプロセス（イメージ）

プロジェクト数(相対比)	10000	1000	100	10
投資規模(相対比)	10	100	1000	10000

「入り交じり」の場: オープンイノベーション

- ・ ビジネスのアイデアの発掘
- ・ ビジョン・戦略の策定
- ・ 技術調達



アウトプット例
(評価指標)

国に期待する
支援(例)

研究開発支援	実証支援	事業化支援・出資
標準化活動支援	制度・規制	

※ 研究開発: シーズ発掘・基礎研究 技術開発: 応用研究